

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	緊急手術を施行した小児絞扼性腸閉塞症の臨床像の検討		
2. 対象患者	1997年から2017年までに当科で緊急手術を施行した絞扼性腸閉塞症の患者さん		
3. 対象となる期間	1997年 1月 1日 ~ 2017年 12月 31日		
4. 実施診療科等	小児外科		
5. 研究責任者	氏名	小林 完	所属 小児外科
6. 研究の意義	絞扼性腸閉塞症は緊急手術を要し特に小児では将来の成長発達やQOLの観点から腸管切除はなるべく避けるべきであり迅速な診断と絞扼の解除が重要です。臨床像を詳細に検討することで、より良好なアウトカムを追求できる可能性があります。		
7. 研究の目的	当科で緊急手術を施行した絞扼性腸閉塞症33人の患者さんの臨床像、背景因子を分析し、考察します。		
8. 研究の方法 (使用する資料等)	患者様への介入を行わない既存情報を使用する研究です。既存情報は診療録を利用し、病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、既往歴などの情報を使用し検討します。		
9. 個人情報の保護	対象患者様のプライバシーに十分配慮し、情報の漏洩防止に努めます。患者個人が特定される情報を公開いたしません。研究内容を当科ホームページに公開し、連絡先を提示することで対象者の本課題への参加撤回の自由を確保します。本研究で得られた個人情報はデータの統計的分析にのみ使用され、学会発表においても個人を特定できる情報を削除し発表します。		
10. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。		
11. 問い合わせ先	小林 完(こばやし たもつ): 弘前大学医学部附属病院小児外科		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080